

株式会社ワイズ・ラブ

時代を先取りする技術で、
システムを構築企画力
自信有
試作可
小ロット

ソフトとハードを結ぶ技術で未来を作る

業務内
未来を形にする
独自技術

組み込みシステムの開発技術をもとに時代を先取りした新しいITソリューションを提供する。受託システム開発の一方で手がけるオリジナル製品・システムは、光るICタグを活用したアクティブRFIDソリューションや電子ペーパーとNFCソリューションの融合に代表される進化した型ITだ。「こんなものがあつたら」と言うシステムを形にし、将来の可能性を実現する手段がすぐにあることを明示してニーズに結びつける。目的の書類などを見つけやすくする光ICタグや、電子ペーパーをいち早く利用した管理システムを世に送り出している。顧客は製造業や流通業、研究機関まで幅広く、技術の移り変わりが早いIT業界の中でも存在感を高めている。



電子ペーパーソリューションで飛躍を狙う

強み
複合技術を
まとめて提供

常に2、3年後の普及技術を見据え、製品開発に取り組む。長年培った組み込みソフトウェアによるマイコンやセンサーなどのハードウェア制御技術と、インターネットの黎明期から手がけるデータベースを用いたWebシステム技術の融合が強み。今は「リアル」と「バーチャル」を結ぶ「モノのインターネット（IoT）」をテーマに、頭で描くイメージを新しいソリューションとして世に送り出すことに力を入れる。組み込み製品を

スマートフォンやインターネット上のサーバーと連携するノウハウをすべて自社内に持ち、複合化した技術を一通貫でまも上げる技術には大手メーカーからも試作依頼が多数寄せられている。

技術開発
新技術に貪欲な
技術者が未来を読む

プロダクトアウトからマーケットインに軸足を移し、ユーザーに近いところに降りたことよって市場がより明確に見えるようになった。一人からスタートしたベンチャー企業は今、新技術に貪欲な15人の技術者を抱える。新しいモノについていく意志がなければ、この業界では生き残れない。それぞれの集める情報が会社の技術をより高く積み上げ、さらに先の世界を予想することが容易になったという。

今後の
展望
技術の再発信と
市場の深堀

「ここで大きくならなかつたら今までがムダになる」と内橋義人社長は力を込める。独立した26年前に概念として抱いていたIT社会のイメージが普通の人の目にも触れるようになってきた。ユビキタスはまだまだ広がり、これを支えるセンシング技術もなくなることはない。業界は忙しくなるばかりだ。最近は数年前に公開し、反応がなかった技術にも問い合わせが来るようになった。このため、これまで貯め込んできた技術を再発信していくことも検討する。製品とターゲット業種を絞った集中営業にも力を入れ、さらなる成長を目指す方針だ。技術面では電子ペーパーを活用するシステムを事業の柱に据え、スマートデバイス、クラウドとの融合を図っていく。

COMPANY PROFILE

株式会社ワイズ・ラブ

大阪
26当社の
歴史

大手家電メーカーの機器組込用マイコン開発部門での経験を生かし、昭和63年に個人事業からシステムハウスを立ち上げました。平成7年に有限会社化、同17年に株式会社化し、創業以来、受託開発と同時に常に新しい形のITソリューションを提供しています。平成18年には自社開発のシステムで自動認識システム大賞「優秀賞」を受賞しました。

先進のITソリューションを自社で開発、
未来に貢献します。

代表取締役 内橋 義人さん

■主な事業内容
コンピュータシステム開発■主な取引先（納入先）
各種製造業、流通業、
物流倉庫、電子部品商社、
大学等研究機関

住所／〒591-8025
堺市北区長曽根町
3079-13
TEL／072-254-5109
FAX／072-254-5209
創業／昭和63年12月
設立／平成7年5月
資本金／1,000万円
従業員／16名

<http://www.yslab.co.jp/>